

# く だか 久高オデッセイ

1.17神戸の大震災。廃墟と化した舗装道路の割れ目に咲くタンポポの黄花一輪。  
大重 潤一郎は、その姿に縄文からの「いのち」の連鎖を感じ得た。そして古層の地霊に導かれるように、八重山の島々へと、身も心も移入していく。  
琉球弧の一つ、神の島とも称される久高島は、類としての人間の故郷を照らし出す。  
『久高オデッセイ』、それは失われつつある村落共同体の甦り。そして、未来へと繋がる「いのち」への根源的な讃歌である。  
近代150年、戦後70年、震災後20年。今こそ上映のとき…神戸から、私たちは発信する。

未来へと繋がる「いのち」への

根源的な讃歌。

KUDAKA ODYSSEY

**久高オデッセイ** 『久高オデッセイ』は、2002年から2014年までの12年間におよぶ沖縄県久高島の姿を、[第一部 結章](2006/65min)、[第二部 生章](2009/76min)、そして[第三部 風章](2015/95min)の三部作で捉えた映画である。

**[第三部 風章]** 2015年/日本/95分/カラー

監督:大重 潤一郎 製作:鎌田 東二 音楽:新実 徳英 語り:鶴田 真由

【製作】沖縄映像文化研究所『久高オデッセイ 第三部 風章』製作実行委員会(実行委員長:梅原 猛・副委員長:島蘭 進)

【製作協力】NPO法人 東京自由大学 【助監督】比嘉真人 【演出助手】高橋あい 【撮影】堀田泰寛 【整音】市川文武

【編集協力】四宮鉄男・森田恵子 【出演】久高島のみなさん 他 文部科学省選定/社会教育(教養) 成人・青年向け

上映とトークの会

**監督・大重 潤一郎が伝えたかったこと**

日時: 2015年 **10月17日** (土)

- ◆13:00 …………… 開場
- ◆13:30 ~ 15:10 …… 1 回目 上映
- ◆15:30 ~ 16:40 …… **トークの会 堀田 泰寛さん(カメラマン/『久高オデッセイ』撮影)を囲んで**
- ◆17:20 ~ 19:00 …… 2 回目 上映

※上映とトークの会の間に、「偲ぶ会」(7月27日に那覇で執り行われた通夜)で放映されたビデオ『大重潤一郎訪問記』を映します。

場所: **こうべまちづくり会館** 神戸市中央区元町通4-2-14 TEL:078-361-4523

協力金: 上映会への参加/一般 1,300円・学生 500円

トークの会への参加/無料

主催: 『久高オデッセイ 第三部 風章』神戸上映実行委員会

協力: こうべまちづくり会館

連絡先: 被災地NGO 協働センター 〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10

TEL:078-574-0701 FAX:078-574-0702 E-mail:info@ngo-kyodo.org (担当: 村井・細川)

『久高オデッセイ 第三部 風章』神戸上映実行委員会(委員長: 坪谷令子・画家)

島田 誠(ギャラリー島田・アートサポートセンター神戸)、中島 淳(神戸芝居カーニバル事務局長)、江口 聡(しみん基金KOBÉ)、鎌田東二(京都大学こころの未来研究センター教授)、灰谷政之(太陽の子保育園園長)、真喜志好一(建築家・沖縄平和市民連絡会世話人)、松本 誠(市民まちづくり研究所)、最所久美子(ライター)、渡邊 仁(編集者)、西島陽子(まちづくりプランナー)、山田剛司(社会福祉法人えんびつの家)、中嶋洋子(アトリエ太陽の子)、門野里栄子(武庫川女子大学非常勤講師)、玉川侑香(詩人・いちばギャラリー主宰)、米川綾子(兵庫県子ども文化振興協会)、天人 純(舞踏家・映画『縄文』主演)、門前喜康(サンテレビジョン取締役)、武藤美也子(神戸女子短期大学教授・神戸女子大学古典芸能研究センター兼任研究員)、村井雅清(被災地NGO 協働センター)、神戸映画サークル協議会(順不同) -2015・8・20 現在-



※JR元町駅西口、阪神元町駅西口より徒歩約10分